



《 北米産大豆 》

12/13年世界大豆生産予測・需給予測

アメリカ農務省がまとめた、12/13年度の世界大豆生産高予測は、前回比1.4%減の2億6,716万tに下方修正されました。米国の生産高が8,720万tから、8,300万t(4.8%減)に下方修正されたためです。

生産量は世界全体で増加するものの、主産国である米国の減産予測と、中国の輸入需要の増加等により、米国の期末在庫率は4.2%と、前年度(5.4%)を下回り歴史的低水準となりました。

12年産カナダ大豆作付け12.7%増

カナダ統計局がこのほどまとめた、6月7日現在の12年産主要作物の作付面積予想によると、オンタリオ州とマニトバ州での大豆の作付は過去最高を更新するとしています。

作付面積は前年比12.7%増の431万エーカーを予想しており、マニトバ州での作付面積は87万エーカーと、前年に比べて50%以上の増加が見込まれています。オンタリオ州では前年比8.6%増の270万エーカーと、2つの州の作付は史上最高に達する見込みです。



《 中国産大豆 》

12年産中国大豆生育状況

黒龍江省より、6月28日時点の12年産大豆の生育状況レポートが届きました。レポートによれば天候は良好で、気温は30度程度まで上昇している模様です。株丈は20cmに達し、順調に生育しているようです。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 国産大豆 》

23年産6月の落札状況

平成23年産国産大豆の6月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数8,336.2トンで、落札が4619.0トン、落札率が55.4%という結果となりました。また、5月と比較すると、平均落札価格は、60kg/126円上昇しました。上場数量は北海道・東日本の銘柄が多く上場された関係で、前月を上回る8,336トンとなりましたが、落札率は55%に低下しました。

落札価格については、北海道の銘柄で先月より60kg/1711円と大きく値を上げました。北陸・東海地区より西の銘柄は、高値を保ったままで推移しており、北海道を除いた東北・関東では比較的安値で推移する、「西高東低」の状態を維持したまま、23年産大豆の入札は7月18日を最後に終了することになるそうです。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	710.4 t	314.4 t	44.3%
12月	1,875.8 t	1,136.9 t	60.6%
1月	4,252.2 t	2,063.2 t	48.5%
2月	10,787.9 t	6,114.2 t	56.7%
3月	11,856.7 t	6,212.6 t	52.4%
4月	11,450.6 t	8,394.1 t	73.3%
5月	7,746.2 t	5,191.9 t	67.0%
6月	8,336.2 t	4,619.0 t	55.4%
合計	57,016.0 t	34,046.3 t	57.3%

《 トピックス 》

シカゴ大豆史上最高値更新

7月9日のシカゴ大豆相場は、米国中西部の一部を除き、全般的に高温乾燥の天候が続いていることから、大幅に続伸し、期近の7月限で16.65ドルを付け、08年7月に記録した16.63ドルの史上最高値を更新しました。同様にシカゴのトウモロコシ相場も7月限で7.75ドルを付け、昨年6月の史上最高値、7.99ドルに迫っています。

米農務省が発表した7月8日現在の週間作柄報告によれば、米国大豆の作柄は良・優合わせて40%と先週から5ポイント悪化しました。改めて作柄悪化に伴う需給逼迫が確認されれば、更なる続伸の可能性もあると思われます。

また、今回の大幅続伸の影に、ファンドによる大規模な投機マネーの流入もあり、今年1月時点で3万枚規模だったものが、現在26万枚の規模に大幅に増加している状況です。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>